



# 完成は八月いっぱい

## 高倉分校と橋診療所

ことしの重要事業に、仙田小学校高倉分校の増築と、橋診療所の改築がとり上げられ、いずれも八月末までに完成することになった。

合併以来第四年度の川西町に、こうして町づくりの基礎が確立され、中村船長の指揮による川西丸が、みんなの協力で大洋に乗り出してゆく喜びは大きい。

いまの校舎は明治四十四年に建てられたもので老朽はなほだしく、県からも危険校舎に指定されていた。

予算は特別会計で総額六百五十万円。このうち八十万円の国庫補助が見込まれているほか、一般会計から二百万円の繰り入れを行ない、残りの三百七十万円は起債でまかなわれる。

建築は随意契約で、小杉土建(小千谷市)が六百二十万円で請け負い、五月十五日に起工式をあげたが、八月三十一日までに完成の予定である。

旧校舎のうち、移築可能な部分五十六坪を合わせると、二階建九十六坪の一般校舎(五教室・六管理室)に、ステージ付き屋内体育館(六間×十二間)というりっぱなものとなる。なお建築期間中は、公民館や区長宅などで分散授業を行なうが、完成の日を待つ子

どもたちの願は明るい。

### 橋診療所

もともとこの診療所は個人の住宅であったが、幾多のへんせんを重ねてあちこちつけ足しが行なわれてきたもの。それだけにあらゆる点で不便のことが多かった。

改築にあたって、指名業者五社による競争入札の結果、山田組(小千谷市)が三百九十八万円で請け負うことに決まった。これは現在の診療所(百七十四坪)のうち百二十坪をとりくずして、百三坪を新築するものである。このほかに、現在の病室(百十坪)のうち二十坪を改築するほか、給食(三十八坪)を新築するので、総額五百万円の改築費が見込まれているが、これは橋診療所会計の管轄費から充当される。

それぞれ八月いっぱいには完成の予定だが、完成後の診療と病と、給食とには近代的な施設を備えるので、すぐれた技術による高度な治療が期待されている。なお本館工事中の診療には病とろの一部があてられ、この点みなさんに不便をかけるが治療に支障はない。

中村町長の話  
合併当初の約束であったし、地元の人たちの要望も強かつたので

増築することにしました。町財政も容易なことではありませんが、一つ一つを着実に実現して、将来に悔のないりつぱな町にしてゆきたいと思つています。これからもみなさんの御協力をお願いいたします。

## 参院選終わる

六月二日執行の参議院議員通常選挙は、選挙期だったことが災いして前回を下まわる投票率だった。しかし、県平均(六一・五八)や、全国平均(五八・七四)よりもはるかに良かった。

## 開票の結果(川西町)

選挙当日の有権者数 八六〇四人  
(男四二二九・女四三七五)  
投票者数 六三三六人  
(男三一九九・女三三三七)  
棄権者数 二二六八人  
(男九三〇・女一三三八)  
投票率 七三・六四%  
(男七七・四八 女七〇・一〇)

## 地方選出議員

投票総数 六三三六票  
有効投票 五八九七票  
無効投票 四三九票  
得票数(按分の端数を除く)  
当選 武内 五郎 二四一〇票  
当選 佐藤 芳男 二二六九票  
高月 辰桂 九三三票

## 全国選出議員

佐藤佐藤治 一八四票  
投票総数 六三三六票  
有効投票 五八二五票  
無効投票 七一一票  
得票数(按分の端数を除く)  
△は当選を、▲は落選を示す。  
①重政廣徳△三六四②上林忠次△三二六③野上 元△二八六④鹿島守之助△二六一⑤下村 定△二四九⑥柴谷 要△二四四⑦牛田 寛△二二三⑧千葉千代世△二二一⑨鶴園哲夫△一九〇⑩青木一男△一七九⑪山本すき△一七六⑫橋本一▲一六九⑬田中正文△一五九⑭赤松常子△一五八⑮前田久吉△一三〇⑯榎原茂嘉△九九⑰植垣弥一郎△九八⑱金丸富夫△九八⑲横山フク△九六⑳鈴木市蔵△八六㉑原島宏治△八三㉒加賀山之雄△八〇㉓辻 政信△七五㉔橋本正康△七三㉕奥むめお△六七㉖武正総一郎△六三㉗向井長年△五四㉘岡村文四郎△五二㉙小平芳平△五一㉚高良とみ▲五〇㉛大谷よし雄△四九㉜鮎川義介△四七㉝山本伊三郎△四四㉞大坪藤市△四二㉟田中清一△三九㊱大木 実△三七㊲高野一夫△三六㊳林 塩△三四㊴徳永正利△三三㊵野本岳吉△三一㊶真崎勝次△三一㊷森田義衛△三〇㊸井上ナツ子△二九㊹松本治一郎△二九㊺中川原一郎△二九㊻佐々木庸▲二九㊼久保 等△二八㊽花田 伝▲二七㊾大倉精一△二五㊿追千代子△二五㊽鈴木恭一△二四㊽吉田ケン▲二四 (以上は町の得票数が五十二位までの者)  
◎木村八郎△二〇◎山口重彦△二〇◎鹿島俊雄△一九◎川上治

## 戸籍の窓から

うぶ声：御すこやかに (五月分)  
◎星名千春(弘一長女)伊友◎熊田英吾(昌吉五男)発電所通◎南雲 亨(定平三男)寺尾◎羽鳥晴美(力夫二女)伊友◎丸山 政(三男三長男)中央◎藤 栄(一男長女)田中◎羽鳥明綱(政治三男)木落◎野沢 正(泉二男)仁田◎野沢 薫(司郎長女)野口◎村越利一(伊一長男)野口◎小幡忠義(辰芳長男)木落◎清水ひるみ(菊蔵長女)上野◎上村健二(豊治二男)上野◎渡辺悦子(一郎長女)新町◎若山高志(登長男)新町◎鈴木裕子(義二二女)新町◎片桐義仁(増美長男)小白倉◎佐藤真由美(順長女)霧谷◎桑原 泉(元平二女)大白倉◎茂野春美(利男二女)藤沢◎齊木房夫(稀治一男)小幡◎樋口幸子(栄長女)中仙田◎高橋孝之(徳造三男)高倉◎高橋孝夫(力蔵二男)中仙田◎小川弘信(正広二男)赤谷◎増田方雄子(福司長女)室島◎登坂武成(賢一長男)赤谷

## たかさご：御門満に

◎相崎貞雄(沖立)松永和美(鹿尾島から)◎高橋森作(坪山)太田ナツ(北越坂から)◎水沢栄治

## 昇天：御めい福を祈る

◎高橋セン(八〇)坪山◎松岡イシ(四九)伊友◎高多子(二二月)東善寺◎田口角蔵(七八)木落◎藤三治(五一)塩辛◎高木ナカ(七三)上野◎江口トヲ(五七)小白倉◎齊木タイ(四三)高倉◎登坂そい(四六)岩瀬◎齊木フジ(七一)小幡

区	票	得	票	得	票	得	票
第1区	2,114	1,441	673	414	259		
第2区	1,777	51	126	24	102		
第3区	3,682	203	180	8	95		
第4区	1,113	655	277	218	29		
第5区	3,995	212	82	79	8		
第6区	56	51	5	5			
第7区	9	8	1	1			
第8区	5	5	0	0			

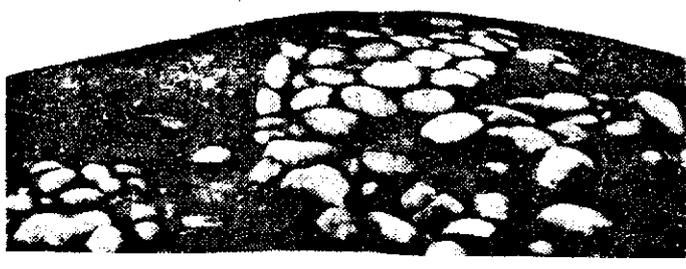
第1区は高橋孝之、第2区は高橋孝之、第3区は高橋孝之、第4区は高橋孝之、第5区は高橋孝之、第6区は高橋孝之、第7区は高橋孝之、第8区は高橋孝之。

# 組石群遺跡を確認

## 中子遺跡を慶大で調査

慶義塾大学で行なつた中子遺跡の発掘は、これまで日本に例がないといわれる組石群遺跡を確認わが国の考古学史上に貴重な成果を収めて終了した。

前後一週間にわたつて実施された調査は、五月十六日から開始され、藤田亮策（日本考古学協会委員長・東京芸大教授）松本信広（慶大教授）清水潤三・江坂輝弥（慶大助教）佐津備洋・可児弘明近藤 正（慶大考古学研究室）の各氏を中心、町内外有志と十日町高校地歴部の協力によつて、



細かい調査のメスが加えられた。これほど大がかりな調査を行なつたのは何のためであつたか、どんな成果があつたのか、各教授の談話から、そのあらましをお伝えすることにしよう。

**1** 古代の人たちが土器や石器を生活の道具に使つていたことはだれもがよく知つてゐる。しかし、いつたものとは別に、大規模な石造遺構（大きな円形を描いて石を敷き並べたもの）を作り、それが生活のささえになつてゐたらしい、という説が、学者の間で問題視されるようになったのは、昭和十七年に大湯遺跡（秋田）が発見されて以来のことである。

**2** 戦後の説をウラ付けようとして、昭和二十二年と二十五年に大湯遺跡の再調査を行ない、またその後に見つされた船生遺跡（栃木・二十七年）尻屋遺跡（青森・三十年）を発掘して、このナソを究明しようと調査してきたが、「たしかにそうである」と断定するまでにいたらなかつた。

**3** 中子遺跡の発掘は全国で四番目に実施されたこととなるが、今次の調査で確認された石造遺構は、組石群遺跡（約三・四千年前）と名付けられ、これまで問題となつてきた前記①②の学説がハッキリしてきたことは、わが国考古学界の前進を意味するものでこの点大きなプラスをもたらして

くれたことになる。

**4** 前記四カ所のうちでも、中子遺跡は日本の最南端にあつており、しかも新潟県で発見されたことは当時の文化や気候風土を究明することからいつても、きわめて重大な意味をもつてゐる。

**5** こんど発掘した組石群遺跡はA墓地であつたのか、B宗教的な儀式に使われたものか、というところがキモンとされ、これから慶大の手によつて究明されることになつてゐるが、発掘カ所に当時の生活必需品が少なかつた点などからBの説がよい。

**6** 遺跡地の大半がブルドーザーで破壊されてゐるため、その全ぼうをつかむことのできないのは惜しい。もし昔のままに残されていれば文部省の特別史跡に指定され、日本一の遺跡地として脚光を浴びたことだろうに……。

（写真は発掘された組石群遺跡の一部 撮影……江坂助教）

## 庁内めぐり (8)

### 戸籍係の巻

「キミは人が悪い……」というエンサの声をよそに、今月もまためくらなければならぬ。

庁舎につく敷石をふんで、正面玄関のトビラをあけるとまずつきあたるのが戸籍係。いままで男掛だつたここにも女子職員が入りかけてゐることに気付く。戸籍といえは人の身分関係を取り扱うだけに、どこでも重要視される係ではあるけれど、対外的な折衝もなければ事業費もない、地味な仕事であるといえる。

カケ値なし、だれに聞いても評判のいい五人の職員は、みんな筆の通者なベテランぞろい。戸籍の改製といつてもあれほど大きな仕事をこなし中には終わらせたいとハリ

特殊なところだといふ、昔からの考えがみんなの頭にしみこんでいて、現在の民主的になつた投票を理解しようとしないうために起る批判の声であるかもしれない。しかし、こういう声があるサラには、やはり職員の方からも考えてもらわねばならぬ点が多々あるようだ

一つの例として、近所の職員といつても親しく話をきいたり、あつたりしてゐるのに、たまにま用事で役場に行つたときなどこつちでふだんのつもりで話しかけても、お役人顔で受け答えされたり、うわががそばにゐるのであつてもさうくはない。といふやう

キル人たちである。

数藤係長（末島町）は寺ヶ崎の生まれ、飲むといわれた家系であるのに百八十里もあればすぐに赤くなるゲコだが、コヌカ五百四十三ミリリットルがなくて長縁にめぐり合つた人。公私とも美にまじめで、よく勤めるこの人にはテキもなく、決して悪妻家でもない。

松沢良平氏（上野）は一見トツツキニクイ感じのする人だが、根はいつたつて善良。合併前に上野村青年団長だつたころの手腕は、いまもつて若い人たちに人気があるみんなから「つてもいい人」といわれるだけに、人知れずルが

須藤良平氏（仁田）は明るい性格の人。飲むと陽気になるほうだが、それだけ仕事にも熱心さがみられる。若いときのイコツさ比べてめつきり人ができたというし「セミ・ラブからよいムコグチをあてた」とうらやむ人が多い。

「セミ・ラブからよいムコグチをあてた」とうらやむ人が多い。

「仕事だからむだ話をしなくてもいいが、もつと親しみのある態度をとつてほしい。また聞かれたことは親切に教えてほしい。そつけない言葉をされることつちも人間、」何だ役場に行つてるとつてエラがつてゐる」といふ気持ちになりかねない。もつと気軽に入つて、何でも話し合えるような、明るい役場にしていただきたいと職員の努力を願つたのである。

（一手・小と幸兵衛）

関口良平氏（神社町）は、ガツチリヤでフワチヤワしないところが魅力だといわれる美男子。北越書道会の新鋭で、夜ともなれば習字熱の盛んな子どもたちのよき先生として親しまれてゐる。

柄沢ヒサさん（神立）はもと社会係。窓口を明るくという毎輪に添えて住民サービスの前に立つことになつたが、どこか窓口にもヒゲをとらない。その明るい性格はだれからも好かれる人である。

**外食券の交付について**

お米の配給は、やみ米の横行などによつて、都会でもさしてことかかない現状のようであり、これからは悪さに向かいます。例年のように任染病が発生します不幸にして入院された場合、病院からお米に替わる外食券を請求されますが、この外食券は次の方法で交付されます。

一 食を百二十グラムとして計算して、一日分（三食）三百六十グラム（二合四勺弱）です。

二 配給を受けておる方は、外食券相当量を配給割当から差引きます。生産世帯の場合は、必要数量だけ保有米を配給所へ売り渡し、配給所からは、買ひ取つたことの証明書をもつて役場で引き替え交付を受けるようにしてください。

なお外食券の交付限度は、消費費者にあつては当月分の割当量の範囲内です。生産世帯の場合もおおむね消費費者に準じます。詳細は係におたすねください。（戸籍係）

## 町の声

### 役場職員に一言

役場職員の言動については、以前にもこのらんにのせられたかと思ふ。役場職員はこの町の種々な仕事の分担者であり、町民と密接に関係している人々だから、それだけにどやかく批評されるわけだが、わたくしもおえて一言申させていたたく。

よく「役場には行きすらい」とか、「役場の人たちはトツキニクイ」といふことを耳にする。これは役場というものは

